

# 保育現場に役立つ

## 記録・お便り作成研修 開催要綱

**趣旨** 保育現場では、保育記録や週案・月案、保護者との連絡ノート、クラス便り等、多くの記録を保育者が作成しています。

本研修は「保護者との信頼関係構築」と「作成の負担軽減」を両立できるような、記録様式や記録の考え方、保護者への伝え方、子どもの育ちを観察する視点を学ぶことを目的に開催します。

### 1. 日々作成している「保育記録」の重要性を再確認できます

保育記録には、子どもの生活の様子をわかりやすく記載し、子どもの発達や今後の保育計画に役立っています。それだけでなく、保育者自身の身を守るものでもあることを、改めて確認できます。

### 2. 保護者と保育者を繋ぐ「生きたお便り」作成について学びます

せっかく子どもたちの様子をお便りに書いても、読んでもらえなければ伝わりません。忙しい保護者が発行を楽しみにするような「魅力的なお便り」を、作成の負担を減らしつつ作成する方法について、講義を通して考えることができます。

### 3. いつでもどこでも、何度でも学べます

オンデマンド配信のため、配信期間内は、好きな時間に講義の動画を視聴できます。また、何度でも講義の動画を視聴できるため、復習のツールとしても有効で、学習効果が高まります。

#### 開催形式

オンライン（オンデマンド配信）

#### 対象

現職経験が3年以上の保育所保育士等

#### 配信期間

令和6年10月10日（木）～11月29日（金）

#### 申込期間

令和6年 8月 9日（金）～ 9月 6日（金）

#### 研修費用

会員・準会員 5,000円 非会員 12,000円

#### 受講決定

令和6年 9月13日（金）までにご連絡します。

## プログラム

時間	研修科目	研修内容
約 90 分	<b>講義 1</b> 「明日の保育実践につながる保育記録とは」	<p>日常の保育実践で作成される保育記録は、保育カリキュラムの一部であり、今後の保育計画立案のための基盤となるものです。</p> <p>ここでは、保育者の経験値や保育の捉え方によって記録の方法や視点が違うことを捉えつつ、保育者自ら書きたくなる、そして明日の保育実践につながる保育記録について理解を深めます。</p>
約 90 分	<b>講義 2</b> 「保育ドキュメンテーション導入にあたっての効果とポイント」	<p>子どもの学びのプロセスについて、写真を使い記録する「保育ドキュメンテーション」は、子どもたちの詳細な状況を保護者に伝えることができます。</p> <p>保護者と子どもの成長を共有し、さらに園について理解してもらうこともできます。</p> <p>ここでは、保育に役立ち、保護者にも伝わる「保育ドキュメンテーション」を導入するにあたっての効果とポイントについて学びます。</p>